

## プレスリリース

### 電力中央研究所 組織改編による新たな体制の発足について

2021年6月22日  
一般財団法人 電力中央研究所

一般財団法人電力中央研究所は、地球環境・社会情勢が急速に変化するなか機を逸することなく、必要な研究を強かに推し進めるため、2021年7月1日付で新たな組織体制を発足します。

#### 【ポイント】

- 研究系部署の再編・統合で新たに3研究本部を設置
- 横断的な研究展開を戦略的に促進する機能を担う  
「研究統括室」を各研究本部に設置
- 各研究本部は基盤技術を構成単位とした部署編成

#### 【改編の背景と目的】

脱炭素化に向けた世界的な動きが加速し、わが国でも政府が2050年カーボンニュートラル宣言をするなど、社会は大きな変革期に突入しています。この変革期において、電気事業者は強靱かつ柔軟な電力供給体制の確立と電気事業のサプライチェーン全体における脱炭素社会実現の両立を求められています。

当所では、このような社会や電気事業の変革の行方を見据え、「持続可能で社会に受容されるエネルギーシステム」の実現に向けた歩みを既に始めておりますが、その実現に向けて必要となる研究を迅速に推進し続けるためには、これまで以上に研究の総合力を発揮できる環境が必要と判断し、部署編成の大幅な見直しを行うこととしました。

#### 【改編の概要】

現在の研究系部署のうち1センター、7研究所<sup>※</sup>を再編・統合し、新たに次の3つの研究本部を設置します。

- エネルギートランスフォーメーション研究本部
- グリッドイノベーション研究本部
- サステナブルシステム研究本部

<sup>※</sup>エネルギーイノベーション創発センター、原子力技術研究所、エネルギー技術研究所、システム技術研究所、電力技術研究所、材料科学研究所、地球工学研究所、環境科学研究所

各研究本部には、研究本部長の下に「研究統括室」と複数の「研究部門」を設置します。

「研究統括室」は、所内における横断的な研究展開を戦略的に促進する機能を担います。

「研究部門」は、基盤技術を構成単位とした部署編成とし、これにより研究員が研究分野にとらわれることなく、基盤技術の幅広い応用先を発想することを促します。

以上により、更なる知見の融合と、よりスピーディな研究員の連携を可能とする組織体制を構築します。

## 【3 研究本部の概要】

### エネルギー変換・貯蔵研究本部

機械工学、原子力工学、材料科学等の基盤技術を活用し、革新的なエネルギー変換・貯蔵技術の開発、原子力発電所の長期運転と次期原子炉開発、ゼロエミッション火力の実現等に向けた研究開発を推進します。

### グリッドイノベーション研究本部

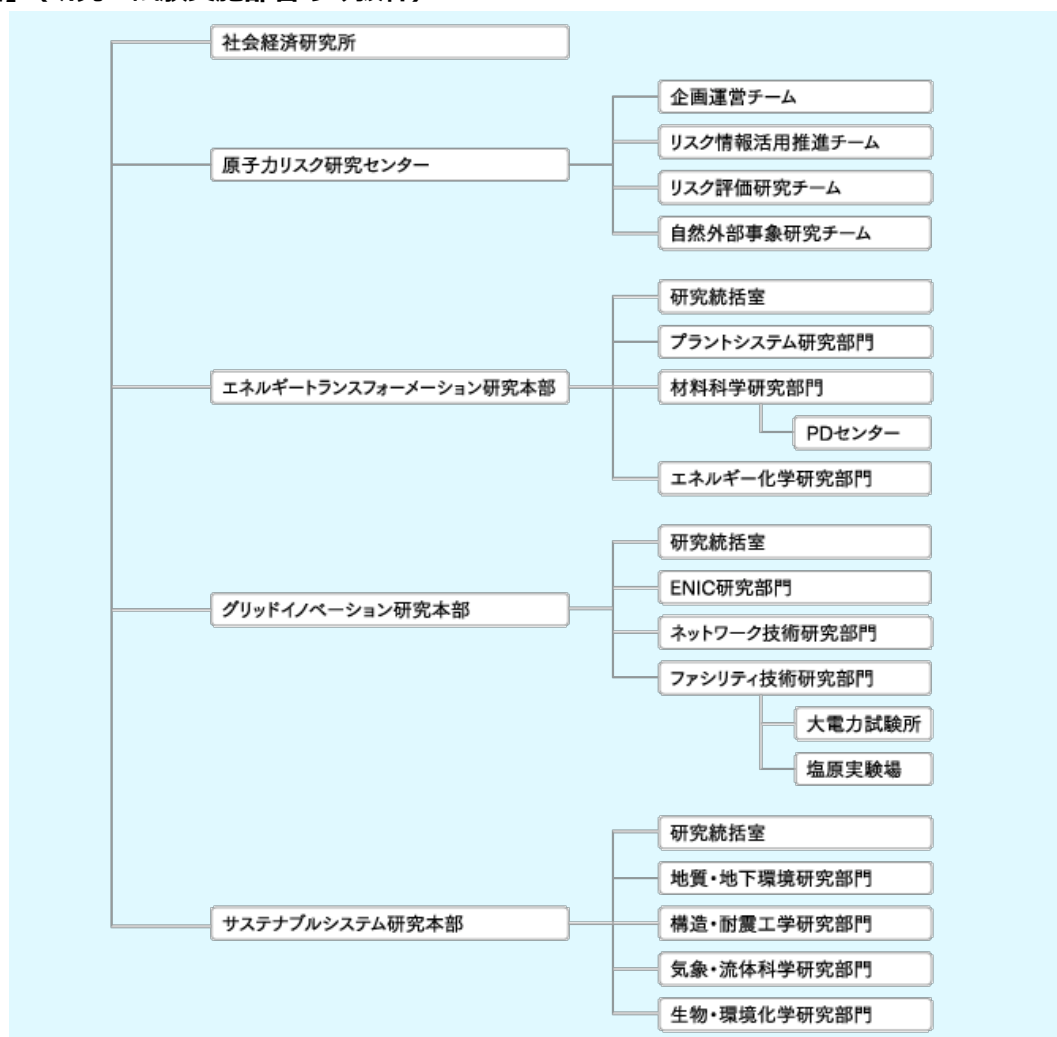
電気工学、情報通信等の基盤技術を活用し、再生可能エネルギーの導入拡大と安定供給確保を両立する為、新たな広域系統や地域エネルギー需給基盤の構築、産業・運輸・家庭における電化等に寄与する研究開発を推進します。

### サステナブルシステム研究本部

土木工学、地球物理学、環境化学、生物学、農学等の基盤技術を活用し、洋上風力発電等の再生可能エネルギー電源を含む、電力設備の効果的な防災・運用・保全によるレジリエンス強化、放射性廃棄物処分や放射線安全等に関する研究開発を推進します。

社会経済研究所および原子力リスク研究センターについては、そのミッションと性格に鑑み、今後も3研究本部と連携しつつ、独立した組織として研究活動を推進します。

## 【組織図】（研究・試験実施部署のみ抜粋）



以上

お問合せ：電力中央研究所 広報グループ TEL：03-3201-5349（広報グループ直通）

※本件は、エネルギー記者会、文部科学記者会、科学記者会で資料配布しております。